

令和3年度野辺地地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当町の農業は、偏東風（やませ）による夏季冷涼な気候でも品質・収量を維持できる「こかぶ」と「ながいも」が主な地域振興作物である。ＪＡゆうき青森野辺地営農センターが取り扱う野菜類は、最近では10億円以上の販売額を達成しており、特にこかぶは、平成24年8月に「野辺地葉つきこかぶ」として地域団体商標へ登録となり、ブランド化され首都圏や関西方面で販売されている。

しかし近年、担い手の不足、既存の農業従事者の高齢化によって労働力が低下し、それに伴い農地面積の減少や担い手にかかる負担の増等の問題が懸念される。

また、新型コロナウイルス感染症の影響等により、全国的に米等の販売比率が低下しており、当町の生産者への影響も懸念される。

令和2年度時点で、当町の水田利用状況としては、主食用米作付面積が31.31ha、高収益作物作付面積が23.41haとなっている。水田面積に対する割合は、主食用米の作付が約14%、高収益作物の作付が約10%となっている。

このため、人・農地プランに基づき、農地中間管理事業等を活用した農地の利用集積を進めるとともに、集落営農組織などへの組織化や農作業の省力化、更には農業次世代人材投資事業等による新規就農者の確保が強く求められている。

また、農家所得の一層の向上を図るため、関係機関・団体と連携し、①野菜等の高収益作物への転換、②地域特産農作物の維持拡大、③農作物の高品質・安定生産の基礎となる、緑肥を組み入れた輪作体系等による健康な土づくりの実践等に向けた動きを加速させる必要がある。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

町内の194.3ha（不作付地を含む）の水田について、産地交付金を有効に活用しながら、冷涼な気候を活かした作物生産の維持・拡大及び生産コスト等の低減に向けた取り組みの増進を図る。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

水田を有効に活用するため、生産者が管理出来なくなった水田については、中間管理機構の事業に組み入れる等の取組を推進する。

また、水稻を組み入れない作付体系が数年以上定着し、畑作物のみを生産し続けている水田や今後も水稻が作付される見込みがない水田については、畑地化支援の周知や対象から除外される水田の洗い出し等を通して、畑地化支援の活用を推進を図る。

4 作物ごとの取組方針等

（１）主食用米

青森県が設定する生産数量目標をベースに、野辺地町農業再生協議会が生産数量目標を設定しているが、需要動向や集荷業者等の意向を考慮しながら生産量を調整する。

また、産業用無人ヘリコプターを活用した共同防除などによる生産コスト低減のほか、関係機関との連携のもと、栽培・生産基準等に基づく適正栽培や健康な土づくり等による

売れる米づくり、販路の拡大等により、より安定した稲作経営の確立を図る。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米
取組予定なし

イ 米粉用米
取組予定なし

ウ 新市場開拓用米
取組予定なし

エ WCS 用稲
取組予定なし

オ 加工用米
取組予定なし

(3) 麦、大豆、飼料作物

ア 麦、大豆
取組予定なし

イ 飼料作物

地域において需要があることから、農地の集積化等による生産コスト低減を推進するとともに、実需者である畜産農家と連携を図りながら作付面積の拡大を図る。

(4) そば、なたね

ア そば

当町のそばは品質が高く、実需者から一定の評価を受けている。また、不作付地の解消や荒廃農地の発生防止等、転作作物として重要な役割を担っている品目である。

国及び地域設定の産地交付金を活用し、これまで種子更新や排水対策、共同刈取、共同乾燥、J A等の指導で示される適正播種量の遵守等の生産性向上及び収量増大に向けた取組を行い、一定の達成ラインを満たしたため、産地交付金の活用を停止する。

今後の動向を観察し、必要に応じて産地交付金の再設定も視野に入れる。

イ なたね
取組予定なし

(5) 高収益作物

地域設定の産地交付金を活用して品質の向上に努め、地産地消による販売を通じて評価を高め、多くの振興作物について、こかぶのような新たな産地ブランドを目指す。

特に、こかぶ、ながいもについては、定期的な土壌診断と堆肥施用による土づくりを徹底することにより、品質の向上に努めるとともに販路拡大を目指す。

5 作物ごとの作付予定面積等

作物等	前年度作付面積等 (ha)	当年度の作付予定面積等 (ha)	令和5年度の作付目標面積等 (ha)
主食用米	31.31	30.00	29.00
備蓄米	0	0	0
飼料用米	0	0	0
米粉用米	0	0	0
新市場開拓用米	0	0	0
WCS用稲	0	0	0
加工用米	0	0	0
麦	0	0	0
大豆	0	0	0
飼料作物	5.30	5.30	5.30
・子実用とうもろこし	0	0	0
そば	11.93	11.00	11.00
なたね	0	0	0
高収益作物	23.46	26.30	27.00
・野菜	23.45	26.10	26.70
・こかぶ	(13.25)	(15.60)	(15.80)
・ながいも	(5.40)	(5.50)	(5.70)
・その他野菜	(4.80)	(5.00)	(5.20)
・花き・花木	0	0	0
・果樹	0	0	0
・その他の高収益作物	0.15	0.30	0.30
その他	0	0	0
	0	0	0
畑地化	0	0	0

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	目標値	
				前年度（実績）	
1	こかぶ	こかぶ作付助成	取組面積	（平成2年度）13.25ha	（平成5年度）15.8ha
2	ながいも	ながいも作付助成	取組面積	（平成2年度）5.4ha	（平成5年度）5.7ha
3	別紙の 振興作物助成	振興作物助成	取組面積	（平成2年度）4.8ha	（平成5年度）5.5ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり